

TEIJIN

2024年度決算 および
2025年度業績見通し

2025年5月12日

帝人株式会社

決算発表のポイント

2024年度実績

- 全社実績は前年度比増益：事業利益+56億円（25.7%増）、当期利益黒字化、ROE 6.7%まで改善
- マテリアルの収益性改善、繊維・製品の販売好調が増益に大きく貢献
- 年間配当：予定通り1株当たり50円で決定（前年度比 20円の増配）

2025年度通期見通し

- 全社業績見通しは24年度比増益：事業利益+74億円（26.8%増）
- マテリアルおよびヘルスケアで増益
- 年間配当：1株当たり50円を予定（24年度から変更なし）

目次

- 1 2024年度決算
- 2 2025年度業績見通し
- 3 2025年度重点課題
- 4 参考資料

目次

1 2024年度決算

2 2025年度業績見通し

3 2025年度重点課題

4 参考資料

実績サマリー（前年度比）

- 売上収益は**450億円**の増収、事業利益は**56億円**の増益
- 事業ポートフォリオ変革の実行（インフォコム売却）に伴い、当期利益は**401億円**の増益、ROEは**6.7%**に大幅改善

(億円)	23年度	24年度	差異	増減率	(参考)24年度前回見通し
売上収益	9,605	10,055	✓ +450	+4.7%	10,100
事業利益	220	276	✓ +56	+25.7%	280
金融収益および費用	▲ 55	▲ 73	-18	-	-
非経常項目	▲ 254	▲ 947 ^{*3}	-693	-	-
その他	▲ 95	▲ 33	+62	-	-
非継続事業からの当期利益	67	1,061 ^{*4}	+993	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益	▲ 117	283	✓ +401	-	250
ROE ^{*1}	-2.9%	✓ 6.7%	+9.7%	-	6%
ROIC ^{*2}	1.8%	2.6%	+0.8%	-	3%

PL換算レート	円/米ドル	145	153
	円/ユーロ	157	164
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)	82	78	
欧州天然ガス価格 (ユーロ/MWh)	35	41	

- *1 親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分
 *2 税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本にて算出（投下資本=資本+有利子負債）
 *3 複合成形材料（北米）の減損損失（2Q）およびヘルスケアの減損損失（4Q）等
 *4 インフォコム株式の売却益等

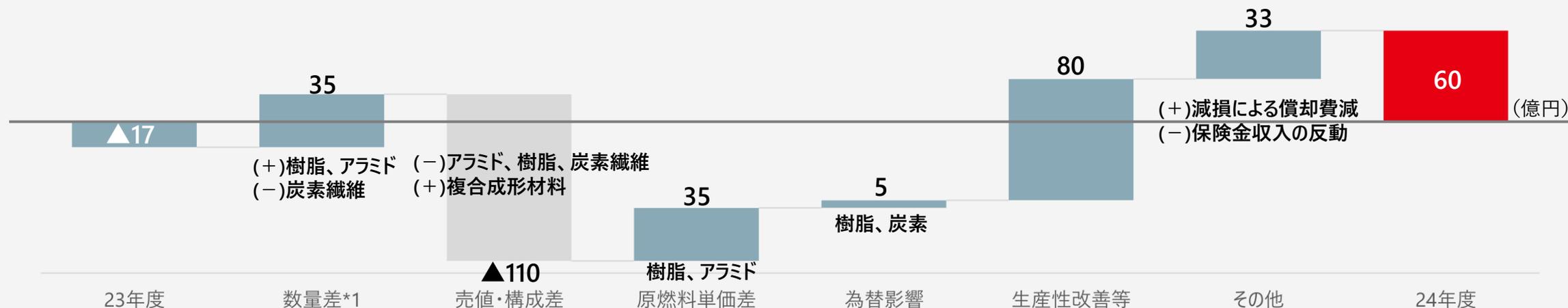
実績サマリー（前年度比） | セグメント別

- 売上収益はマテリアル、繊維・製品等が牽引し**450億円**の増収
- マテリアルでの複合成形材料の収益性改善、樹脂の販売量増加に加え、繊維・製品での販売好調等により**56億円**の増益

	売上収益				事業利益			
	23年度	24年度	差異	増減率	23年度	24年度	差異	増減率
(億円)								
マテリアル	4,392	4,593	+201	+4.6%	▲ 17	60	+78	-
繊維・製品	3,217	3,519	+302	+9.4%	130	178	+49	+37.5%
ヘルスケア	1,447	1,370	-77	-5.3%	182	57	-125	-68.7%
その他	548	573	+24	+4.4%	11	71	+60	+554.0%
消去又は全社	-	-	-	-	▲ 86	▲ 90	-5	-
合計	9,605	10,055	✓ +450	+4.7%	220	276	✓ +56	+25.7%

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | **マテリアル****売上収益** 4,593億円（前年度比：+201億円）**事業利益** 60億円（前年度比：+78億円）

- 複合成形材料での収益性改善効果の発現および樹脂での販売量増加等により増益



	アラミド ↘	樹脂 ↗	炭素繊維 ↘	複合成形材料 ↗
増加 (+)	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 各用途で販売は回復基調 原燃料価格低下 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 事務機用途を中心とした顧客在庫調整の緩和 原燃料価格低下 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 航空機用途 	<ul style="list-style-type: none"> 収益性改善効果の発現 販売価格改定、生産性改善 設備故障・UAW*2スト影響からの復旧 償却費減少 固定資産減損等
減少 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格低下 光ファイバー用途など 前年度の保険金収入の反動 	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格低下（スプレッドは悪化） 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量減少 産業用途 操業度悪化 生産調整、計画外メンテナンス休止 販売価格低下 産業・レクリエーション用途 	

セグメント別事業利益増減分析（前年度比）

繊維・製品

売上収益 3,519億円（前年度比：+302億円）

事業利益 178億円（前年度比：+49億円）

- 商社のグローバルサプライチェーン基盤にメーカーの研究開発・生産体制を組み合わせることで顧客のあらゆるニーズへ対応
- 衣料繊維、産業資材ともに販売好調



増加
(+)

- **販売量増加**
衣料繊維：北米や中国向けテキスタイル・衣料品、国内向け衣料品
産業資材：水処理フィルター向けポリエステル短繊維、人工皮革、生活雑貨
- **販売価格改定および販売構成改善**

減少
(-)

- **拡販に伴う経費増加等**

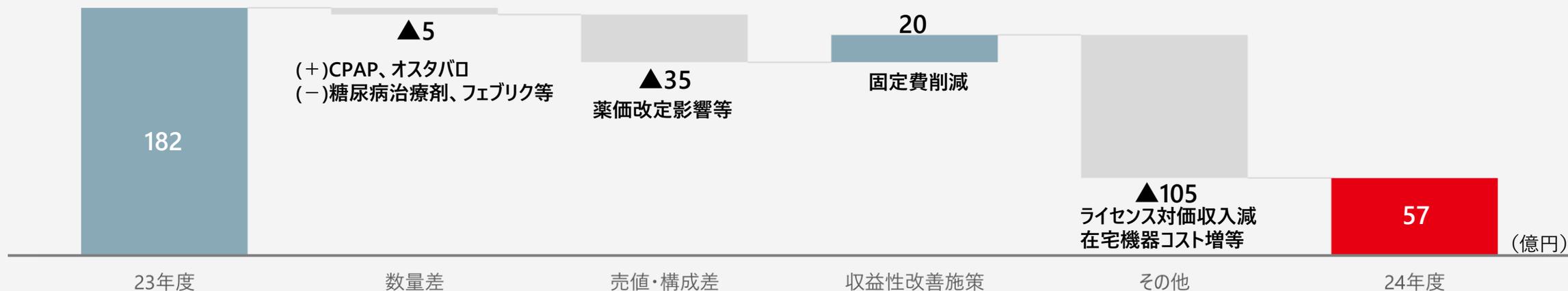
セグメント別事業利益増減分析（前年度比）

ヘルスケア

売上収益 1,370億円（前年度比：▲77億円）

事業利益 57億円（前年度比：▲125億円）

- CPAPレンタル台数増加等に伴う機器コスト増やライセンス対価収入減少、薬価改定等の影響により減益



増加
(+)

- CPAPレンタル台数増加
検査数増加に伴う新規処方件数の拡大
- オスタバロ販売量増加
- 事業構造転換の推進に伴う固定費削減

減少
(-)

- 医薬品販売量減少
糖尿病治療剤、フェブリク等
- 薬価改定による影響
- ライセンス対価収入の減少
- CPAP新機台投入、消耗品使用量増加に伴うコスト増

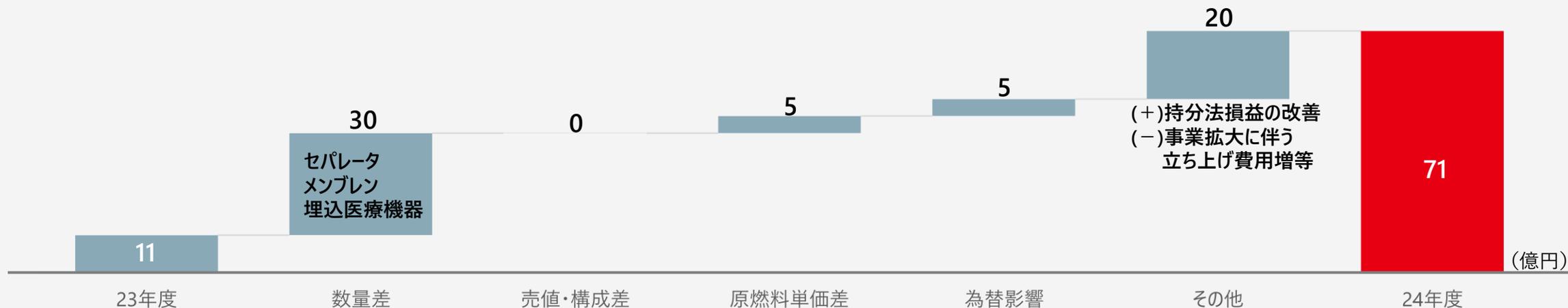
セグメント別事業利益増減分析（前年度比）

その他

売上収益 573億円（前年度比：+24億円）

事業利益 71億円（前年度比：+60億円）

- セパレータ、メンブレンおよび埋込医療機器での販売好調等による増益

増加
(+)

- 販売好調
セパレータ（電子デバイス）、メンブレン（半導体関連）および埋込医療機器
- 持分法損益の改善

減少
(-)

- 事業拡大に伴う立ち上げ等の費用増加
再生医療・埋込医療機器

金融収益および費用、非経常項目（前年度比）

金融収益および費用

- 支払利息減少も、前年度の円安効果剥落によりやや悪化

(億円)	23年度	24年度	差異
受取利息	26	29	+3
受取配当金	10	6	-4
デリバティブ評価益	92	-	-92
その他	1	6	+5
金融収益 計	129	41	-88
支払利息	▲112	▲104	✓ +7
為替差損	▲59	▲3	+56
デリバティブ評価損	▲10	▲4	+6
その他	▲3	▲3	+1
金融費用 計	▲184	▲114	+70
金融収益および費用 計	▲55	▲73	✓ -18

※ 益プラス表示、損マイナス表示

非経常項目

- 減損損失計上
複合成形材料の北米事業(2Q)及びヘルスケア糖尿病治療剤(4Q)

(億円)	23年度	24年度	差異
固定資産売却益	3	106	+103
減損損失戻入益	-	1	+1
受取保険金	71	-	-71
固定資産処分損	▲19	▲25	-6
減損損失	▲273 ^{*1}	✓ ▲952 ^{*2}	-679
災害による損失	▲17	-	+17
その他	▲19	▲77 ^{*3}	-58
非経常項目 計	▲254	▲947	-693

*1 複合成形材料の北米事業および中国事業等

*2 複合成形材料(602億円)、ヘルスケア糖尿病治療剤(280億円)、炭素繊維(31億円)、J-TEC(11億円)等

*3 早期退職優遇制度に係る特別退職金を含む

財政状況（前年度末比）

- 総資産は前年度末比減少
複合成形材料の北米事業およびヘルスケアにおける固定資産の減損影響等
- 負債は前年度末比減少
インフォコム株式の売却資金で有利子負債を返済（D/Eレシオは0.77まで改善）

	(億円)	24年3月末	25年3月末	差異	内 為替換算影響
総資産		12,266	10,613	✓ -1,653	-34
負債		7,899	6,227	✓ -1,671	+0
(内 有利子負債)		5,169	3,871	✓ -1,298	+5
資本		4,368	4,385	+18	-
D/Eレシオ ^{*1}		1.26	0.90	-0.36	-
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*2}		1.11	✓ 0.77	-0.33	-
BS換算レート	円／米ドル	151	150		
	円／ユーロ	163	162		

*1 有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分にて算出（グロス表示）

*2 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債600億円発行済）

キャッシュフローの状況（前年度末比）

- 事業ポートフォリオ変革の実行（インフォコム売却）により投資活動によるキャッシュフローが増加
- インフォコム売却資金を有利子負債の返済に充当し、財務活動によるキャッシュフローが減少

(億円)	23年度	24年度	差異
営業活動	806	698	-108
投資活動	▲ 566	525	✓ +1,091
フリー・キャッシュ・フロー	240	1,224	+983
財務活動他	▲ 411	▲ 1,380	✓ -969
現金及び現金同等物増減	▲ 171	▲ 157	+14

目次

1 2024年度決算

2 2025年度業績見通し

3 2025年度重点課題

4 参考資料

前提 | 当社の主要ターゲット市場の動向（2025年度）

産業セクター	主に関連する事業	マクロ環境（関税影響未織込み）
モビリティ	自動車 マテリアル全般 繊維・製品	欧州、中国は景気減速により引き続き低成長も、中国でのEV市場は成長継続 日本は回復の見込み（前年度は認証不正問題や能登地震等で低調）
	航空機 マテリアル (炭素繊維)	市場は引き続き成長しており、ビルトレートも拡大
インフラ & インダストリアル	インフラ マテリアル (アラミド) 繊維・製品	光ファイバーはデータセンターや5G需要等で市場は拡大 水処理市場は排水処理や海水淡水化需要等で堅調に推移
	電気・電子 マテリアル (樹脂) 新事業 (セパレータ)	事務機は市場の縮小傾向が継続 電子デバイス市場は堅調に推移
ヘルスケア	医薬品	後発化加速の一方、希少疾患・難病領域には高い医療ニーズあり
	在宅医療機器	在宅医療のニーズ増大が継続

通期業績見通しサマリー（前年度比）

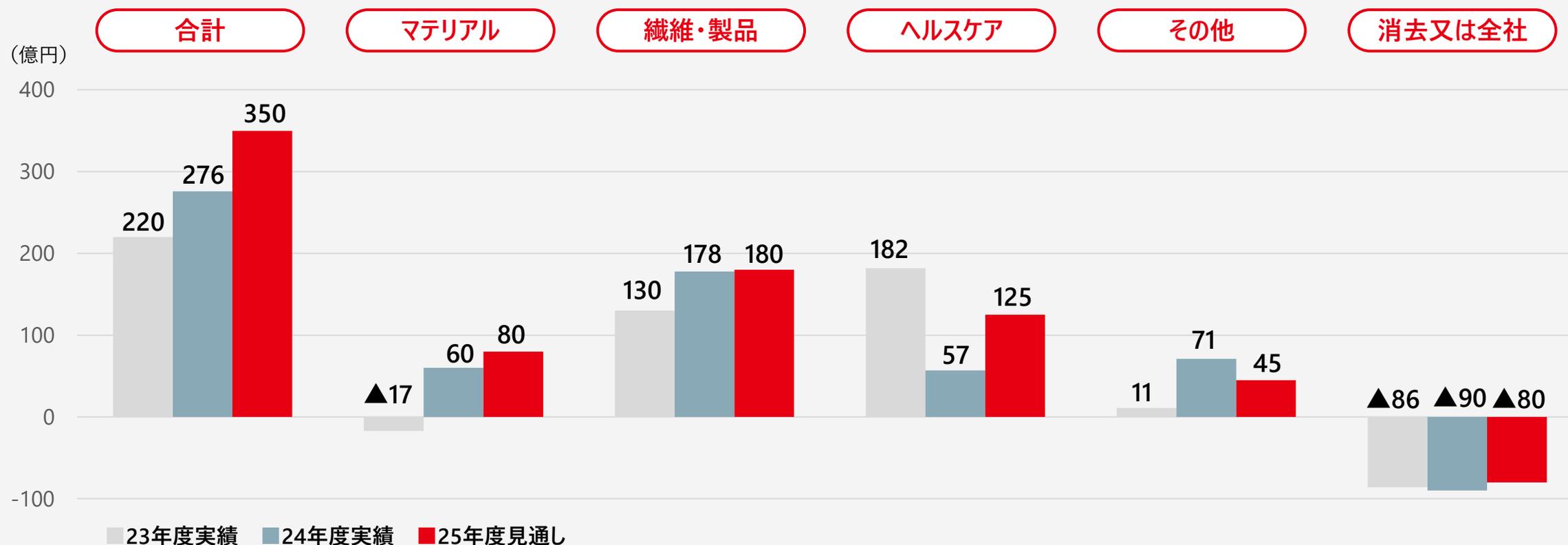
- 売上収益は**1,455億円**の減収（複合成形材料の北米事業撤収影響）、事業利益は**74億円**の増益
- 1株当たりの配当金は年間50円（中間25円、期末25円）を予定（前年度から変更なし）
- 米国関税政策による影響は未織込み（間接的な影響や当社での対応策も踏まえて精査中）

	(億円)	24年度実績	25年度見通し	差異	増減率
売上収益		10,055	8,600	✓ -1,455	-14.5%
事業利益		276	350	✓ +74	+26.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		283	120	-163	-57.7%
ROE		6.7%	3%	-4%	-
ROIC		2.6%	3%	+0%	-
D/Eレシオ		0.90	1.0	+0.1	-
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.77	0.8	+0.0	-
1株当たり配当（円）		50	✓ 50	0	-
配当性向		34%	80%	-	-
通期平均為替レート	円/米ドル	153	145		
	円/ユーロ	164	155		
原油(Dubai)価格（米ドル/バレル）		78	73		
欧州天然ガス価格（ユーロ/MWh）		41	40		

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

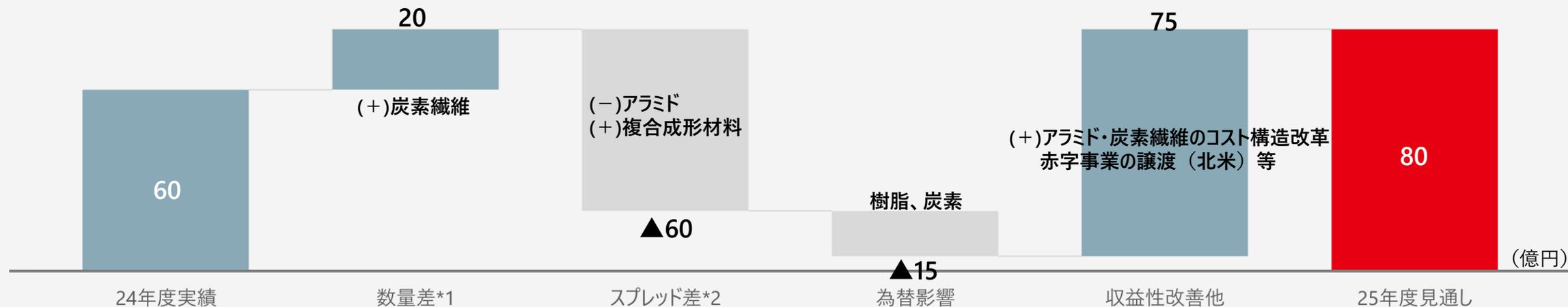
セグメント別事業利益増減分析サマリー（前年度比）

- 事業利益は24年度比 74億円の増益（収益性改善が進展）
- ヘルスケアのCPAPレンタル台数の増加や固定費削減効果の年間フル発現等に加え、マテリアルのコスト構造改革等が牽引



セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | **マテリアル****売上収益** 3,200億円（前年度比：▲1,393億円）**事業利益** 80億円（前年度比：+20億円）

- アラミド、炭素繊維でのコスト構造改革および複合成形材料の北米事業の譲渡等により増益



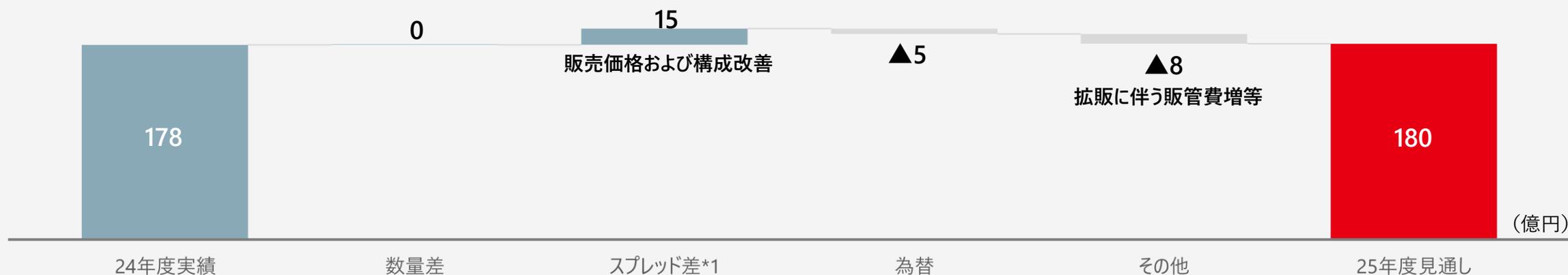
	アラミド →	樹脂 ←	炭素繊維 ↗	複合成形材料 ↘
増加 (+)	<ul style="list-style-type: none"> コスト構造改革 生産最適化によるコスト削減 販売量増加 各用途で増販 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量維持 事務機減も自動車、光学用途で増販 原燃料価格低下 	<ul style="list-style-type: none"> 販売量増加 航空機用途 コスト構造改革 生産最適化によるコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格改定（欧州） 赤字事業の譲渡（北米）
減少 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格低下 前年比、下げ幅は減少 操業度悪化 定修および生産調整 	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格低下（スプレッドは前年並） 為替影響 	<ul style="list-style-type: none"> 為替影響 	

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | 繊維・製品

売上収益 3,500億円（前年度比：▲19億円）

事業利益 180億円（前年度比：+2億円）

- 産業資材は自動車向けを中心に増販、衣料繊維も堅調を維持、強固な事業基盤により前年度並みを見込む



*1 売値・構成差 + 原燃料単価差

増加
(+)

- 販売量増加
産業資材：自動車関連部材、水処理フィルター向けポリエステル短繊維、生活雑貨
- 販売価格改定

減少
(-)

- 販売量減少
衣料繊維：中国向けテキスタイル・衣料品
- 拡販に伴う販管費増加等

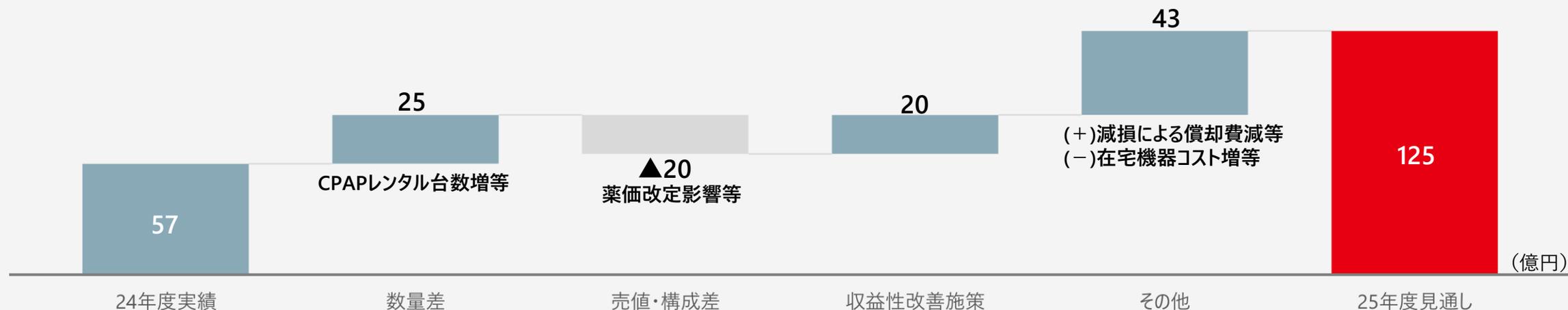
セグメント別事業利益増減分析（前年度比）

ヘルスケア

売上収益 1,350億円（前年度比：▲20億円）

事業利益 125億円（前年度比：+68億円）

- CPAPレンタル台数の増加や固定費削減効果の年間フル発現、減損に伴う償却費減少等により増益



増加
(+)

- CPAPレンタル台数、オスタバロ販売量増加
- 事業構造転換の推進に伴う固定費削減
- 償却費減少
固定資産減損等

減少
(-)

- 医薬品販売量減少
糖尿病治療剤、フェブリク等
- 薬価改定による影響
- CPAP新機台投入、消耗品使用量増加に伴うコスト増

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | その他

売上収益 550億円（前年度比：▲23億円）

事業利益 45億円（前年度比：▲26億円）

- セパレータでの販売量減少（販売堅調も前年度比では減少）及び持分法損益の減少により減益
- 事業ポートフォリオ変革の一環として、機能性食品や帝人ナカシマメディカル等を譲渡（事業利益影響は限定的）



*1 売値・構成差 + 原燃料単価差

増加
(+)減少
(-)

- 販売量減少
セパレータ（電子デバイス）
- 持分法損益

目次

- 1 2024年度決算
- 2 2025年度業績見通し
- 3 2025年度重点課題**
- 4 参考資料

2025年度重点課題（PBR改善に向けた施策）

- 戦略的オプションの実行による事業の絞り込みやグローバル経営基盤の強化は大いに進捗
- スピード感をもって事業の収益力改善を図り、成長戦略を具現化していくことでROE 10%以上、PBR 1倍以上を目指す

ROE改善

	24年度までの施策	25年度対処すべき課題
収益性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収益性改善に向けた改革の完遂（複合成形材料、アラミド、ヘルスケア） ■ 不採算事業の戦略的オプションの実行 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アラミドや炭素繊維：外部環境の変化による新たな課題に対して、迅速に収益改善策を実行 ■ ヘルスケア：事業構造転換の推進とコスト削減の継続
資産効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非注力事業の戦略的オプションの実行 ■ 政策保有株式の縮減、遊休資産の売却推進 ■ グローバルキャッシュプーリングによるBS圧縮 ■ 24年度増配 + 20円/株 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業単位でのROICやキャッシュ・コンバージョン・サイクル目標改善の徹底 ■ 政策保有株式の縮減、遊休資産の売却継続 ■ 継続かつ安定的な株主還元の実施
財政状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ 借入金返済によるD/ELシオ改善 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次期中期経営計画を踏まえた最適資本構成の検討

PER改善

	24年度までの施策	25年度対処すべき課題
中長期成長期待の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式市場にコミットした施策の断行（事業ポートフォリオ変革の実行等） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成長戦略の具現化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 提供価値主体の事業へ転換（成功モデルの横展開）（川下展開／周辺領域の取込み／業界再編等）
グローバル経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ パーパス活動の推進（My Actionの全社員への浸透） ■ 監査等委員会設置会社への移行決定 ■ CTOやCDO*を設置し、外部人財を積極登用 ■ 人的資本戦略の推進（ジョブポスティング制度等） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2024年度に実施した戦略的オプション実行や、次期中期経営計画を踏まえた最適な組織体制の検討（グループ横断的機能の最適化等）

* CDO：デジタル・情報システム管掌 25年4月1日設置

基礎収益力の回復 これまでの流れと足元の状況

アラミド

22年度
～
23年度

- 火災からの復旧、収益性改善、安定供給構築を進め、業績安定化を実現

23年度
後半
～
24年度

- 外部環境の変化が想定より大
 - ✓ 一時的な市場成長鈍化 (欧州等)
 - ✓ 競合の生産能力拡大による需給バランス軟化

炭素繊維

22年度
～
23年度

- 北米新工場稼働による増産体制実現
- コロナ後、航空機用途は徐々に回復

23年度
後半
～
24年度

- 外部環境が悪化
 - ✓ 一部産業用途の需要減 (風力発電等)
 - ✓ 競争激化による供給過剰、価格低下

25年度

現中期計画の施策に加え、生産体制の見直しを含む、収益改善施策の実行が必要と判断
(これまでの環境激変を克服してきた知見や実行力を存分に活用し、不退転の覚悟で完遂)

基礎収益力の回復 スピード感をもって収益力強化アクションを実行

コーポレートと事業が一体となった特別対策チームで、スピード感を持って収益力強化のアクションを実行

アラミド

コスト構造改革

- オランダ生産体制の見直し
- 生産拠点の最適化や人員削減、その他固定費削減(ア-ネム工場(特殊パルプ)の他拠点集約を先行実施)
- R&D、営業、本社機能の抜本的見直し

新規用途開発（大陸間電力ケーブル等）の加速

炭素繊維

低収益ビジネスからの撤退による生産規模縮小

コスト構造改革

- 日欧米拠点の最適生産体制追求
- 上記に伴う人員、R&D投資、間接費見直し

堅調な航空機需要の刈り取り、中間材料開発推進

実行・モニタリング体制

コーポレートと事業一体での特別対策チームを組成し追加的な改善施策に全面的に取り組む

マイルストーンとKPIを設定し用途別・地域別に月次モニタリングを実施

事業ポートフォリオ改革の実績と今後の方向性

基本的な考え方

- シナジー、ケイパビリティ、資源投入の観点から、ベストオーナーでないと判断した場合、あるいは、事業安定性や成長性の観点も含め、帝人グループの将来の柱と位置付けるには困難と判断した場合は速やかに当該事業のダイベストを行う
- 顧客課題解決に資する価値・サービスを提供する「顧客近接型ビジネスモデル」を軸に、絞り込んだ事業において**成長・拡大**を推進する

これまでの実績

- 不採算・非注力事業への対応は概ね完了

インフォコム

譲渡日：2024年10月22日
譲渡価格：1,344億円

複合成形材料 北米事業

譲渡日：2025年5月予定
譲渡価格：非公表

埋込医療機器

帝人ナカシマメディカルの譲渡
(2025年4月譲渡契約締結)

機能性食品

機能性食品素材事業の譲渡等
(25年度1Q中を目途)

今後の方向性

- 川下展開・周辺領域の取込み・業界再編等を通じて、各事業において顧客近接型モデルへのシフトを検討
 - ✓川下展開：注力市場において、川下への軸足移行
 - ✓周辺領域の取込み：M&Aを通じた展開製品の拡大
 - ✓業界再編：経営資源効率化、規模、シェア拡大
- 顧客近接型モデルにフィットする事業を見定め、**優先的にリソースを配分**
- 各事業内でのROIC管理徹底による、**ビジネス単位の集中と選択**を実行

2026年5月公表予定の次期中期経営計画において具体的な施策等について公表予定

目次

- 1 2024年度決算
- 2 2025年度業績見通し
- 3 2025年度重点課題

4 参考資料

財務健全性・株主還元方針

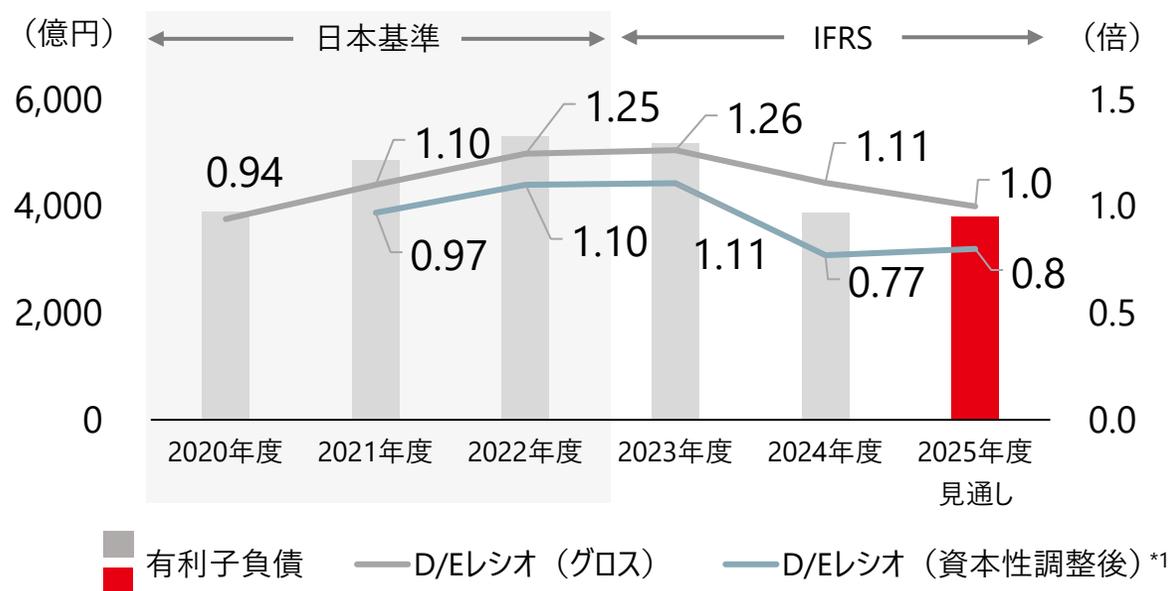
財務健全性

- D/レシオ前年度並みの0.8倍程度となる見通し

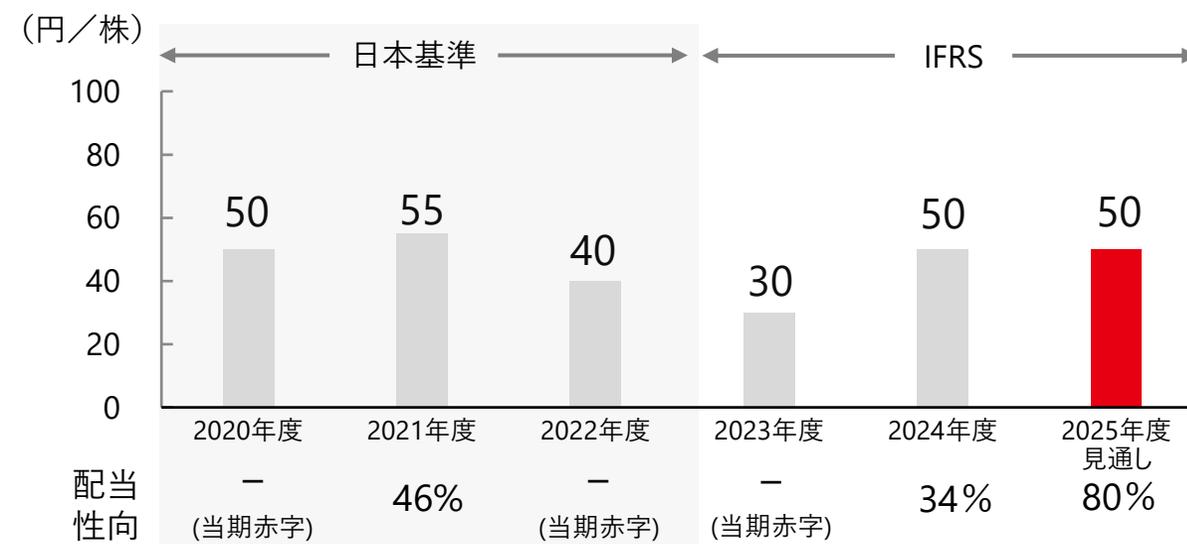
株主還元方針

- 配当性向30%を目安に、「業績に連動した配当」を実施
- 「安定的・継続的な配当」に配慮
- 25年度の1株当たりの配当金は年間50円（中間25円、期末25円）を予定

有利子負債・D/レシオ推移



一株当たり配当金推移



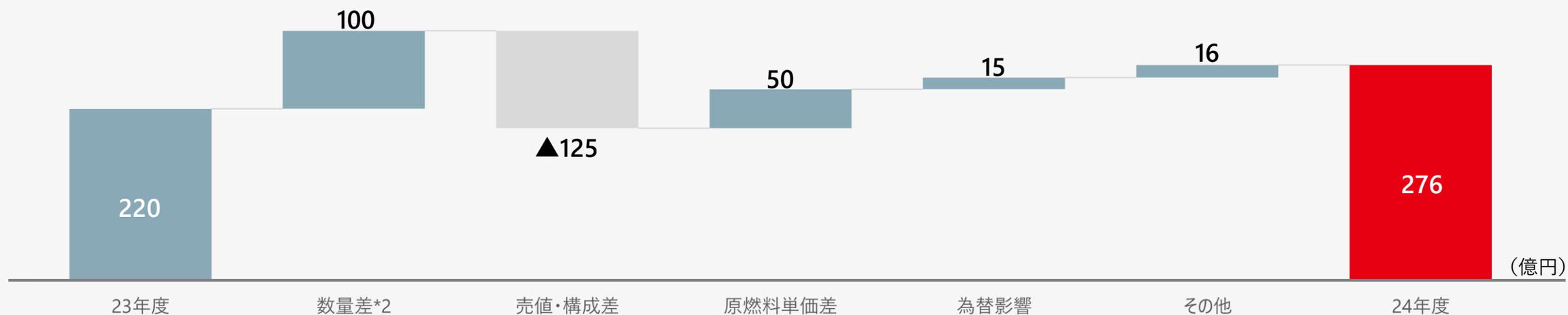
*1 劣後債資本性調整後のD/レシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

定常的な損益影響要因

セグメント	主な要因
マテリアル	<ul style="list-style-type: none">アラミドの大型定修は3年に一度（次回は2025年度1Qを予定）樹脂は毎年2Q、3Qに定修
繊維・製品	<ul style="list-style-type: none">衣料関係は2Q～3Qが秋冬物、4Qが春物シーズン
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none">4Qに経費集中傾向

2024年度実績 事業利益増減（連結合計） [前年度比]

(億円)	23年度	24年度	差異	増減率
売上収益	9,605	10,055	+450	+4.7%
EBITDA	984	982	-2	-0.2%
減価償却費 ^{*1}	780	710	-70	-9.0%
事業利益	220	276	+56	+25.7%
ROIC	1.8%	2.6%	+0.8%	-



*1 IT事業含む

*2 操業度差含む

2024年度実績 セグメント別まとめ[前年度比]

(億円)	合計				マテリアル				繊維・製品			
	23年度 実績	24年度 実績	差異	増減率	23年度 実績	24年度 実績	差異	増減率	23年度 実績	24年度 実績	差異	増減率
売上収益	9,605	10,055	+450	+4.7%	4,392	4,593	+201	+4.6%	3,217	3,519	+302	+9.4%
EBITDA	984	982	-2	-0.2%	329	325	-4	-1.2%	207	255	+47	+22.9%
減価償却費	780 ^{*1}	710 ^{*1}	-70	-9.0%	346	265	-81	-23.5%	78	76	-1	-1.5%
事業利益	220	276	+56	+25.7%	-17	60	+78	-	130	178	+49	+37.5%
ROIC	1.8%	2.6%	+0.8%	-	-0%	1%	+2%	-	6%	8%	+2%	-

	ヘルスケア				その他			
	23年度 実績	24年度 実績	差異	増減率	23年度 実績	24年度 実績	差異	増減率
売上収益	1,447	1,370	-77	-5.3%	548	573	+24	+4.4%
EBITDA	454	347	-107	-23.6%	56	118	+62	+111.8%
減価償却費	272	290	+18	+6.6%	45	47	+2	+5.3%
事業利益	182	57	-125	-68.7%	11	71	+60	+554.0%
ROIC	7%	2%	-5%	-	-	-	-	-

*1 IT事業を含む

2024年度実績 セグメント別まとめ[前回見通し比]

(億円)	合計				マテリアル				繊維・製品			
	24年度 見通し	24年度 実績	差異	増減率	24年度 見通し	24年度 実績	差異	増減率	24年度 見通し	24年度 実績	差異	増減率
売上収益	10,100	10,055	-45	-0.4%	4,650	4,593	-57	-1.2%	3,550	3,519	-31	-0.9%
EBITDA	1,000	982	-18	-1.8%	340	325	-15	-4.3%	255	255	-0	-0.1%
減価償却費	730 ^{*1}	710 ^{*1}	-20	-2.7%	285	265	-20	-7.0%	75	76	+1	+1.8%
事業利益	280	276	-4	-1.4%	55	60	+5	+9.6%	180	178	-2	-0.9%
ROIC	3%	2.6%	-0.4%	-	1%	1%	+0%	-	8%	8%	+0%	-

	ヘルスケア				その他			
	24年度 見通し	24年度 実績	差異	増減率	24年度 見通し	24年度 実績	差異	増減率
売上収益	1,350	1,370	+20	+1.5%	550	573	+23	+4.1%
EBITDA	350	347	-3	-0.9%	110	118	+8	+7.5%
減価償却費	290	290	+0	+0.0%	45	47	+2	+5.3%
事業利益	60	57	-3	-5.2%	65	71	+6	+9.0%
ROIC	2%	2%	+0%	-	-	-	-	-

*1 IT事業を含む

2024年度実績 セグメント別四半期推移[前年度比、前年同期比、前四半期比]

(億円)	23年度					24年度					差異 24年間 -23年間	差異 24/4Q -23/4Q	差異 24/4Q -24/3Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間			
売上収益													
高機能材料	607	651	655	710	2,623	713	675	643	678	2,709	+86	-32	+35
複合成形材料	450	445	406	469	1,769	520	437	435	491	1,884	+115	+22	+56
マテリアル 計	1,057	1,096	1,061	1,179	4,392	1,233	1,112	1,079	1,170	4,593	+201	-10	+91
繊維・製品	761	827	810	819	3,217	830	909	923	857	3,519	+302	+38	-66
ヘルスケア	358	349	364	376	1,447	354	339	349	327	1,370	-77	-49	-22
その他	115	160	132	142	548	137	161	135	139	573	+24	-3	+4
合計	2,291	2,431	2,366	2,516	9,605	2,553	2,522	2,486	2,494	10,055	+450	-23	+8
事業利益													
マテリアル	▲ 4	▲ 20	12	▲ 4	▲ 17	24	▲ 7	1	42	60	+78	+46	+40
繊維・製品	34	41	24	30	130	44	57	50	27	178	+49	-3	-23
ヘルスケア	52	38	37	54	182	36	18	27	▲ 24	57	-125	-78	-50
その他	▲ 11	16	3	2	11	22	32	12	4	71	+60	+1	-9
消去又は全社	▲ 23	▲ 9	▲ 16	▲ 38	▲ 86	▲ 22	▲ 18	▲ 21	▲ 29	▲ 90	-5	+8	-8
合計	48	66	60	45	220	104	82	70	20	276	+56	-25	-50

2024年度決算 連結損益計算書[四半期推移]

(億円)	23年度				24年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	2,291	2,431	2,366	2,516	2,553	2,522	2,486	2,494
売上原価	▲ 1,708	▲ 1,932	▲ 1,815	▲ 2,042	▲ 1,919	▲ 2,370	▲ 1,898	▲ 1,953
売上総利益	583	499	551	474	634	151	588	541
販売費および一般管理費	▲ 538	▲ 526	▲ 551	▲ 632	▲ 559	▲ 709	▲ 539	▲ 896
その他の収益および費用	1	▲ 1	82	9	5	0	▲ 9	74
営業利益	46	▲ 28	82	▲ 149	80	▲ 557	40	▲ 281
金融収益および費用	6	▲ 16	▲ 41	▲ 4	▲ 16	▲ 33	4	▲ 27
持分法による投資損益	0	10	71	▲ 29	19	▲ 2	11	▲ 18
税引前四半期利益	53	▲ 34	113	▲ 183	84	▲ 592	55	▲ 327
法人所得税	▲ 39	▲ 18	4	▲ 50	▲ 39	1	▲ 43	104
非継続事業からの四半期利益	13	18	15	21	8	18	1,035	▲ 0
四半期利益	27	▲ 34	132	▲ 212	52	▲ 573	1,047	▲ 223
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	21	▲ 41	127	▲ 224	45	▲ 578	1,043	▲ 226
非支配分に帰属する四半期利益	6	7	5	12	8	5	4	3
営業利益	46	▲ 28	82	▲ 149	80	▲ 557	40	▲ 281
持分法による投資損益*1	0	9	3	2	19	12	11	5
非経常的な要因による損益	2	85	▲ 25	192	4	628	19	296
事業利益	48	66	60	45	104	82	70	20
設備投資*2	126	150	249	249	113	122	159	206
減価償却費*3	195	195	199	191	193	180	171	166
研究開発費	75	76	80	96	73	76	70	90

*1 非経常的な要因により発生した損益を除いた額

*2 設備投資には無形資産の取得（M&Aは除く）を含む（IT事業含む）

*3 IT事業を含む

2024年度決算 連結財政状態計算書[四半期推移]

(億円)	23年度				24年度			
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
資産								
流動資産	6,605	6,768	6,596	6,256	6,975	6,603	7,155	5,879
非流動資産	6,277	6,242	6,253	6,010	5,916	5,105	5,038	4,734
合計	12,883	13,010	12,849	12,266	12,891	11,708	12,193	10,613
負債・資本								
負債	8,513	8,636	8,406	7,899	8,355	7,909	7,526	6,227
(内 有利子負債)	5,989	5,880	5,930	5,169	5,740	5,471	5,164	3,871
資本	4,370	4,374	4,443	4,368	4,536	3,799	4,667	4,385
合計	12,883	13,010	12,849	12,266	12,891	11,708	12,193	10,613

2024年度実績 総資産内訳[前年度末比]

(億円)	24年3月末	25年3月末	差異
総資産	12,266	10,613	-1,653
現金及び現金同等物	1,232	1,075	-157
営業債権	2,226	1,667	-559
棚卸資産	2,340	2,270	-69
有形固定資産及び使用権資産	3,358	2,743	-615
のれん及び無形固定資産	1,496	938	-558
売却目的で保有する資産 ^{*1}	8	554	+546
その他	1,606	1,364	-241

*1 複合成形材料の北米事業等を「売却目的で保有する資産」に分類

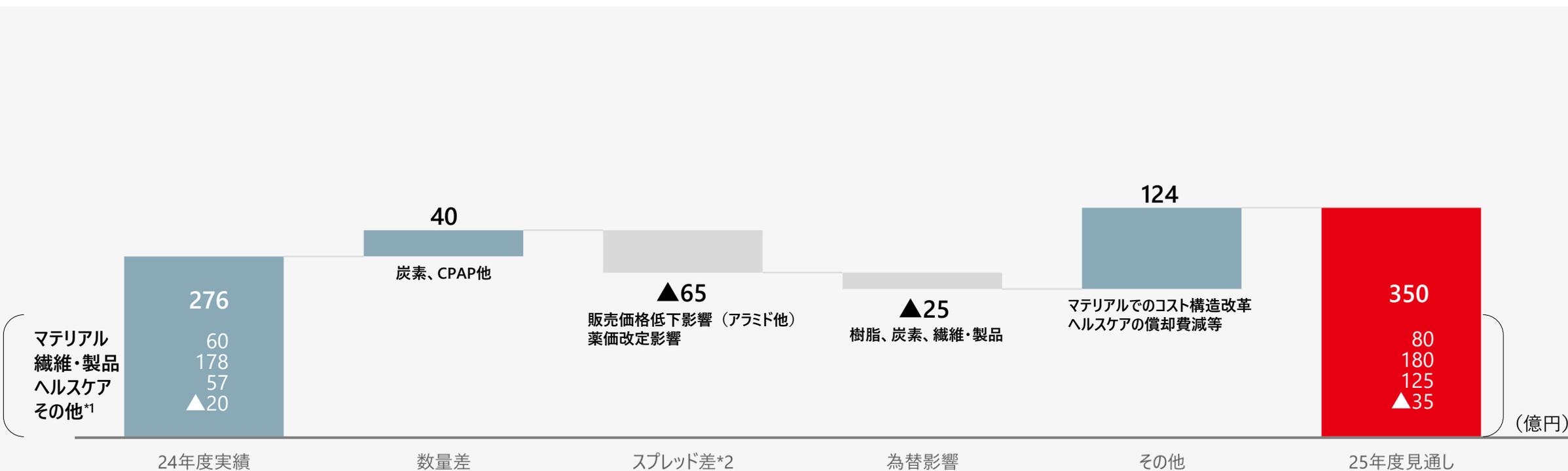
2025年度業績見通し セグメント別まとめ[前年度比]

(億円)	合計			マテリアル			繊維・製品		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益	10,055	8,600	-1,455	4,593	3,200	-1,393	3,519	3,500	-19
EBITDA	982	1,000	+18	325	300	-25	255	260	+5
減価償却費	710 ^{*1}	650	-60	265	220	-45	76	80	+4
事業利益	276	350	+74	60	80	+20	178	180	+2
ROIC	2.6%	3%	+0%	1%	2%	+1%	8%	8%	-0%

	ヘルスケア			その他		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益	1,370	1,350	-20	573	550	-23
EBITDA	347	390	+43	118	100	-18
減価償却費	290	265	-25	47	55	+8
事業利益	57	125	+68	71	45	-26
ROIC	2%	6%	+4%	-	-	-

*1 IT事業を含む

2025年度業績見通し 事業利益増減要因 [前年度比]



*1 「その他」及び「消去又は全社」の合計としている

*2 売値・構成差 + 原燃料単価差

主要経営指標推移

	日本基準				IFRS		
	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 見通し
ROE ^{*1}	-1.7%	5.5%	-4.1%	2.4%	-2.9%	6.7%	3%
営業利益ROIC ^{*2}	8.6%	5.5%	1.6%	1.6%	-	-	-
ROIC ^{*3}	-	-	-	-	1.8%	2.6%	3%
EBITDA ^{*4} (億円)	1,068	1,130	878	924	984	982	1,000
基本的1株当たり当期利益 ^{*5} (円)	▲ 34.7	120.6	▲ 92.0	55.1	▲ 60.9	147.1	62.3
1株当たり配当金 (円)	50	55	40	30	30	50	50
フリー・キャッシュ・フロー ^{*6} (億円)	281	-1,087	27	234	288	1,224	300
設備投資 ^{*7} (億円)	603	2,008	625	669	774	599	650
減価償却費 ^{*6} (億円)	518	688	749	789	780	710	650
研究開発費 (億円)	327	333	319	426	327	309	290
総資産 (億円)	10,411	12,076	12,424	12,510	12,266	10,613	9,700
有利子負債 (億円)	3,800	4,852	5,294	4,989	5,169	3,871	3,800
D/Eレシオ ^{*8}	0.94	1.10	1.25	1.10	1.26	0.90	1.0
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*9}	-	0.97	1.10	0.97	1.11	0.77	0.8
親会社所有者帰属持分比率 ^{*10}	39.0%	36.4%	34.2%	36.3%	33.4%	40.7%	41%

*1 日本基準：「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

IFRS：「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本^{}」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金および預金)

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (投下資本 = 資本 + 有利子負債)

*4 日本基準：「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

IFRS：「事業利益 + 減価償却費」にて算出

*5 日本基準：1株当たり当期純利益

*6 24年度まではIT事業含む

*7 設備投資には無形資産の取得 (M&Aは除く) を含む
(24年度まではIT事業含む)

*8 日本基準：「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

IFRS：「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出 (グロス表示)

*9 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*10 日本基準：自己資本比率

主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	23年度					24年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
糖尿病治療剤四剤合計		63	58	61	47	228	55	50	53	43	200
ネシーナ®	2型糖尿病治療剤	31	28	29	23	111	27	24	26	21	98
イニシク®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	19	17	18	15	69	17	16	17	14	64
リオベル®	2型糖尿病治療剤（配合剤）	8	7	8	5	28	7	6	6	4	23
ザファテック®	2型糖尿病治療剤	5	6	6	3	20	4	4	4	4	16
ソマチュリン®*1	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤【希少疾病用医薬品】	15	15	17	14	61	15	16	18	15	64
ベニロン®	重症感染症治療剤【希少疾病用医薬品】	14	14	16	11	55	16	16	17	14	63
ボナロン®*2	骨粗鬆症治療剤	16	16	17	13	63	15	14	14	11	54
フェブリク®	痛風・高尿酸血症治療剤	20	21	20	12	74	13	12	7	6	38
オスタバロ®	骨粗鬆症治療剤	1	2	4	4	11	7	7	10	9	33
ゼオメイン®*3	上下肢痙縮治療剤	5	5	6	5	20	6	6	7	6	23
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	4	5	4	18	5	4	5	4	17
ムコソルバン®	去痰剤	4	5	5	4	19	3	3	3	2	12

*1 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です *2 ボナロン®/Bonalon® はNV Organon(蘭) の登録商標です *3 ゼオメイン®/Xeomin®は、Merz Pharma GmbH & Co, KGaA (独) の登録商標です

IFRSの任意適用について

- 2024年度より、IFRS任意適用を開始
- 経常的な事業収益を示す業績管理指標として、「事業利益」を設定

< IFRS適用後の連結損益計算書 >

日本基準のPL表示	IFRSのPL表示
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費および一般管理費	販売費および一般管理費
営業利益	その他の収益および費用
金融収益および費用	営業利益
持分法による投資損益	金融収益および費用
その他営業外収支	持分法による投資損益
経常利益	税引前利益
特別損益	法人所得税
税金等調整前当期純利益	当期利益
法人税等	親会社の所有者に帰属する当期利益
当期純利益	非支配持分に帰属する当期利益
親会社株主に帰属する当期純利益	
非支配株主に帰属する当期純利益	

■ 事業利益（当社任意の項目）

営業利益に持分法による投資損益を加算し、非経常的な要因により発生した損益を除いて算出

日本基準の営業利益
+ IFRS適用による会計基準差
+ 金融収支除く営業外損益
+ 特別損益 ^{*1}
IFRSの営業利益
+ 持分法による投資損益
- 非経常的な要因による損益
事業利益

*1投資有価証券売却損益・評価損益除く

IFRSの任意適用について

- IFRS適用による主な処理の変更（連結財務諸表）

項目	日本基準	IFRS
のれん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定額償却 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非償却
固定資産の減損	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減損の兆候がある場合、割引前将来キャッシュ・フローと帳簿価額を比較して減損の有無を判定 ・ 減損が必要と判定された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで引き下げて減損損失を計上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減損の兆候がある場合、帳簿価額と回収可能価額（割引後）を比較し、回収可能価額が帳簿価額を下回る場合には、その差額を減損損失で処理
研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発生時に一時費用として処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究費：発生時に費用処理 ・ 開発費：一定要件を満たすものは資産として計上
政策保有株式の売却損益	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売却損益をPLに計上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売却損益をPLに計上せず、「その他包括利益」に計上
退職給付費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理計算上の差異を費用として処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理計算上の差異を費用処理せず、「その他包括利益」に計上
オペレーティングリース取引	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資産・負債として未認識で、支払賃借料をPLに計上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資産・負債として計上し、償却費と支払利息をPLに計上

IFRSの任意適用について

- 2023年度実績値のIFRSへの変換：日本基準（営業利益）とIFRS（事業利益）との差異 ※2023年度実績

（億円）

2023年度実績	営業利益 (日本基準)	事業利益 (IFRS)	差異	要因
マテリアル	-62	-17	+44	・ 固定資産減損 ^{*1} による償却費減少（TAT-US） ・ のれん 非償却影響 他
繊維・製品	121	130	+8	
ヘルスケア	73	182	+109	・ ホルモン剤3剤の導入一時金の資産計上 他
その他	-8	11	+18	・ のれん 非償却影響 ・ 持分法による投資損益 他
消去又は全社	-85	-86	-0	
合計	40	220	+179	
IT	95	-	-	・ 連結子会社のインフォコム(株)の株式を全て売却することを決定したことに伴い、IT事業を「非継続事業」に分類し、事業利益から除外
再計	135	-	-	

*1 IFRSにおける減損テストの結果、認識された減損額：約400億円

● IFRS適用による主な処理の変更

- ・ 減損：減損の兆候が認められ、割引後の回収可能価額が簿価より低い場合、簿価を回収可能価額まで減額
- ・ 開発費の資産計上：一定の条件を満たす導入コストはすべて資産計上（承認後に償却開始）
- ・ のれん：非償却
- ・ なお、当社は持分法による投資損益を事業利益に含めている

ESG外部評価

GPIFの以下ESG指数の構成銘柄に採用されています

FTSE Blossom
Japan Index2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社を組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MSCI ESG格付評価において最上位の「AAA」を獲得しました



CCC B BB BBB A AA AAA

日経SDGs経営調査で非常に高い評価を得ています

NIKKEI

SDGs

Management Survey 2024



・ 4分野全てにおいて「S以上」の高評価

SRI（社会的責任投資）
インデックスに組み入れられています

FTSE4Good

大和インターネットIR表彰において
優秀賞を受賞しましたESGへの取り組みが優れている企業として、
2つの国内プログラムに選定されています

健康経営推進

スポーツエールカンパニー
(シルバー認定*)* 認定回数7回～9回
の企業の呼称

TEIJIN

本資料に関するご注意

記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2025年5月12日11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。